

自治体	課題・取組希望	支援を要する業務内容
長崎県	<p>パーソナルデータ連携基盤にかかわる法整備（個人情報保護法の改正等）の状況を把握し、今後のサービス検討に向けての整理が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス検討するにあたって法解釈や関係各所の動向に関する客観的な意見の提供
佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器のサポート終了等を契機に通知書等印刷・発送業務のアウトソーシングを検討している。BPOを実施するには、庁内で使用されている帳票・システム仕様等の整理が必要である。 ● Microsoft Teamsを全庁的に展開し、Office 365 E3で使用可能な一部のアプリについても全庁的に展開している。使用方法等は通知しているものの、全職員が目を通しているわけではなく、職員間で利用差が生じており、上手くツールを活用できていない。ツールの活用方法を職員に浸透させることで、働き方改革（業務効率化）を図りたい。 ● 市独自の文書生成AIを導入し職員への利用に関するルールを策定している一方で、O365 E3で使用できるCopilotやGoogle等の検索エンジンで使用できるAI検索等、追加費用なく利用可能なAIも存在しており、各ツールの活用場面が不明瞭である。業務に応じた利用区分を整理し、庁内におけるAI利活用を促進したい。 ● 庁内情報が分散しているため、契約をはじめとした事務処理に時間を要していることから、庁内情報を整理した上で、AIエージェント等の活用によって、必要な情報を効率的に活用できるように改善したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通知書等印刷・発送業務のアウトソーシングに向けた整理等に係る支援 ● Microsoft TeamsやOffice 365 E3などのツールを活用した働き方の職員への定着・促進に係る支援 ● 庁内業務に最適化された「標準ツールメニュー」「適正利用ルール」案の作成支援 ● 整備した資料を基に、職員向け研修の実施（回数：1回） ● Copilot・パブリックAI・市独自生成AIの特性を踏まえた利用区分の整理に加え、各業務で活用しやすいAI利用方法の提示等、庁内におけるAI利活用の定着・促進に係る支援 ● 庁内情報の有効かつ効率的な活用のため、庁内情報の整理や契約等の事務処理を支援するAIエージェントの構築に係る支援
諫早市	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進リーダー（15名程度）の制度を策定し育成を進める予定。研修計画を策定し、効果的な研修を実施したい。（研修案） 課題抽出のための現状分析 生成AIを活用した業務改善スキルの取得・実践・成果報告会等のレビュー ・窓口開庁時間の短縮を検討している。 市民サービスの向上のためオンラインによる申請受付事務の効率化を進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● DX推進リーダーの研修計画の策定支援 ● DX推進リーダー向け研修の実施 ● 窓口開庁時間短縮にかかる電子申請拡充・BPR支援
大村市	<ul style="list-style-type: none"> ● 生成AIの利活用促進 ● ポータルアプリ「おむすび。」の利用者増加に向けた課題洗い出し・取り組み検討 ● DX推進計画（R8年度開始分）の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生成AIを活用した業務改善を目指し、各部署・業務で活用できるような具体的な活用法を検討する。 ● 「おむすび。」の利用者数増加に向け、現状の課題を分析し、今後取り組むべき施策等を検討する。 ● R7年度に本事業で策定予定のDX推進計画原案について、国・県の最新動向を踏まえた内容で最終案を策定する。

令和8年度県市町デジタル人材共同利用事業

解決希望課題

自治体	課題・取組希望	支援を要する業務内容
吉崎市	<p>「行かない市役所」を実現するため、生成AI・業務改革（BPR）により、時間の創出と知識の蓄積をし、マンパワー不足・時間不足を解消する。</p> <ul style="list-style-type: none">● 生成AIの業務活用の検証● AIリテラシー教育● オンラインフォーム・AI-OCRを活用したBPRによる業務効率化● 生成AIの活用に伴う情報セキュリティのリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none">● 生成AIの活用により効率化が図れる業務の洗い出し・操作方法等の手順やプロンプト・RAG等の作成● 職員へのAIリテラシーと業務に則したハンズオンセミナー等● 既存ツールを活用したBPRと、費用対効果と操作性が高いRPAツールの選定● 情報セキュリティポリシーの見直し
五島市	<p>DX推進の更なる加速化を図るため、組織レベル向上を目指し、次の取組の実施を検討しているが、作成・実施方法等について専門的な知見・人的リソースが不足している。</p> <ol style="list-style-type: none">①BPRによる業務の効率化（部署を特定したBPRの実施による成功事例の創出）②デジタル人材育成方針の作成（育成するデジタル人材の明確化・育成システムの構築）	<ul style="list-style-type: none">● BPRによる業務の効率化（部署を特定したBPRの実施による成功事例の創出）<ul style="list-style-type: none">・ 補助金交付に係る一連の事務手続の簡素化・効率化に向け、専門的な見地からの具体的な改善提案、改善手順の助言その他改善に係るバックアップ※ デジタルで完結し業務効率化も図られる事務手続の実現● デジタル人材育成方針の作成（育成するデジタル人材の明確化・育成システムの構築）<ul style="list-style-type: none">・ 五島市の規模・状況、他団体の優良事例などをふまえた現実的なデジタル人材育成方針案の作成及び育成システムの構築に係る具体的な提案・助言・ DX推進の意識醸成に係る研修開催（階層別）※ 職員確保が困難な状況から当市人事担当部署及びDX推進部署において人的リソースの追加確保は困難な状況
東彼杵町	<p>専門的な職員が不在のため、</p> <ul style="list-style-type: none">・AIの活用、アプリ設計や導入の見極め等、もう一步進んだDXの推進ができない・セキュリティ対策、サーバーやネットワーク設計に関して導入業者SEとの折衝が難しい・現場職員の課題掘り起こし～DX化による解決を継続するのが難しい・新庁舎移転に向けDX化された環境整備の提案を求められているが、最適な案を出すのが難しい	<ul style="list-style-type: none">● 課題の掘り起こしにより当町に最適と思われるAIや生成AI等の新技術の活用提案● 新庁舎においてDX化された最適な環境整備について、職員を巻き込んで協議し、方針を決定

令和8年度県市町デジタル人材共同利用事業

解決希望課題

自治体	現状・取組希望	支援を要する業務内容
波佐見町	<p>庁内でのAIの活用推進</p> <ul style="list-style-type: none">● 庁内問合わせ等で活用できるAIを活用したナレッジベースの導入<ul style="list-style-type: none">・RAGに取り込むための機械判読に優れたマニュアル等の整備・波佐見町にあった適切なソリューションの選定● その他生成AIの利活用<ul style="list-style-type: none">・職員のAIリテラシー（プロンプトエンジニアリング等）の向上・波佐見町にあった適切なソリューションの選定	<ul style="list-style-type: none">● マニュアルのナレッジベース化に当たってのインプットデータの整備の取り組み方について● 職員が生成AIをはじめとするAIの利活用を促進する取り組み方について
小値賀町	<ul style="list-style-type: none">● 自治体の情報発信をDXにより強化し、住民や交流人口・関係人口とのつながりを深めるための効果的な戦略と実行支援 公式LINE、町ホームページ、広報誌などを活用し、情報を発信しているが、発信方法や活用状況の分析ができていない。新たなツールの導入やフォロワーの反応、エンゲージメントの評価、効果的な投稿時間や内容の特定、ターゲット層を明確化する。● （R7継続）自治体における各種ツールを活用した業務効率化と組織のデジタルリテラシー向上を図る伴走型支援による業務改革の実現。 R7年度に提案があったツールの導入効果を見極め、実装化を検討するため、デジタル人材による伴走支援を実施する。● 既存データの整理をしたいが、データが膨大で統一性がなく、整理する方法が分からない。 データ管理（文書管理・電子決裁システム）について、後にマネジメントするための整理方法を明確化する。 文書管理・電子決裁システムを活用するメリット、方針を明確化するための設計図を作る。	<ul style="list-style-type: none">● 現状の把握・分析。効果的な発信方法の提案。● 業務改善ツールの選定および導入のための職員研修の開催。● 整理されたデータ基盤を活用し、後に生成AIを活用した分析や行政計画の策定などに活かすための助言。
新上五島町	<ul style="list-style-type: none">● オンライン予約と窓口キャッシュレス構築、運用に関する助言。● 職員のデジタルリテラシーを向上する。● 庁内でのAIの活用推進	<ul style="list-style-type: none">● オンライン予約、窓口キャッシュレスを導入後の助言● 職員のデジタルリテラシー向上に係る研修● AIや生成AIの利活用に関する助言

令和8年度県市町デジタル人材共同利用事業 **随時対応希望**

自治体	課題・取組希望	支援を要する業務内容
諫早市	庁内において、DXの意義・必要性の理解不足や、デジタル部門のみが担当するという誤った認識が見られる。DXを全職員が自分事として捉え、共に取り組むことで、市民サービスの向上と業務効率化を加速させていきたい。	DX意識醸成を目的とした 現地 研修 幹部職員向け1回、一般職員向け 1回 DX担当課との事前オンライン打ち合わせ1回

随時対応希望案件については、年間3件までを目安として市町希望の都度、県・希望市町の協議のうえ依頼を決定する。
※1自治体あたりの年間支援回数15回の内数として取り扱う
事業実施中に参加自治体から個別に希望が追加される。